

「技術委員会・第26回報告会」のご案内

主催：(一社)日本建築構造技術者協会
技術委員会

技術委員会では、毎年各部会の活動の成果がまとまった段階で技術報告会を開催しております。今回は、金属系部会から「鉄骨造建築物の設計における鋼・構造材ハンドブック」、品質・監理部会から「工事監理におけるリモート検査の試行と適性」、プログラム部会から「一貫構造計算プログラムにおけるデフォルトについて」と3部会から報告させていただきます。報告会は、現状の各部会の活動報告の場であるとともに、現在の活動に対して意見交換をする場としており、今後の活動に皆様の意見を反映させて技術委員会の活性化を図れると考えています。

多数の参加をお待ちしています。

記

■金属系部会

テーマ：「鉄骨造建築物の設計における鋼・構造材ハンドブック」

講演者：主査 中尾彰宏、他

概要：設計の高度化・効率化を図るべく2011年に「鉄骨造建築物の設計における鋼・構造材ハンドブック」（初版）を発表しました。その後、新たな技術開発による製品化、製造メーカーの再編や規格の変更に加え、カーボンニュートラルに関する社会的要請が変化してきたことなどから、現在の2013年版を改定する作業を行ってきました。本報告会では、昨年の第23回報告会に引き続き、未報告の章である「柱梁接合部」、「露出柱脚」、「制振部材」、「床構法」、「梁貫通孔補強」を取り上げ報告します。

■品質・監理部会

テーマ：「工事監理におけるリモート検査の試行と適性」

講演者：主査 對比地健一、他

概要：近年、移動時間・負担を減らし、建築生産の効率化や働き方改革に資することを期待し、デジタル技術を活用して遠隔から監理・検査を実施されるようになりました。当部会では、鉄骨製品検査、RC造の配筋検査、および既製杭と回転貫入鋼管杭の試験杭確認の試行を行い、JSCAから出版している各工事監理チェックリストや品質監理に対するリモート検査の適性について報告します。

■プログラム部会

テーマ：「一貫構造計算プログラムにおけるデフォルトについて」

講演者：主査 池田周英、他

概要：プログラム部会では、構造設計者とプログラムメーカーと共に、一貫構造計算プログラムの特性比較等を通して、設計者がプログラムの計算内容を十分に理解し、正しい使用や利用技術の向上に資するための活動を行っています。本報告では、一貫構造計算プログラムのデフォルトに関する検討について取り上げ、報告します。

日時：2026年3月12日（木）13:30～17:30

会場：オンライン（Zoom ウェビナー）

参加費：会員1,000円、非会員2,000円

定員：オンライン400名（定員になり次第締め切らせていただきます。）

申込締切：2026年3月9日（月）17:00

構造士更新：JSCA 建築構造士登録更新のための評価点申請中。

CPD制度：建築CPD 情報提供制度対象講習会申請中

オンライン参加の場合、それぞれ所定の時間を聴講したとみなされた参加者が対象となります。確実に付与されるよう参加者自身でネット環境の事前確認を十分に、当日は余裕をもってアクセスし、切断等の障害が発生しないようにして下さい。

申込方法：デジタルチケット購入形式

ご自身の申込区分を確認の上、以下URLまたはQRコードから、該当する受講料分のデジタルチケット（※）を購入して下さい。

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02nw9cjq8y41.html>

